# 在宅 or 入院 向きチェックリスト

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 質問項目 | Yes | No |
| 夜間や緊急時の対応を自宅でできる体制がある（家族同居、訪問医など） | ☐ | ☐ |
| 親が「住み慣れた家で最期を迎えたい」と希望している | ☐ | ☐ |
| 介護保険サービスや自治体の支援制度をすでに活用している | ☐ | ☐ |
| 医療処置の頻度が少なく、安定した状態が続いている | ☐ | ☐ |
| 家族が仕事や育児などで日中の介護が難しい | ☐ | ☐ |
| 急変リスクが高く、酸素・点滴・吸引など医療依存度が高い | ☐ | ☐ |
| 一人暮らしで、見守り体制が十分ではない | ☐ | ☐ |
| 病院での医療的な安心感を優先したい | ☐ | ☐ |

# 状況別｜費用シミュレーション比較表

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ケース | 医療費・介護費 | その他費用 | 高額療養費活用後 | 特徴 |
| 在宅＋家族同居（訪問診療あり） | 約25,000円 | 約10,000円 | 約35,000円 | 家族で支えながら自宅で最期を迎える。費用は抑えめ。制度の活用が鍵。 |
| 在宅＋一人暮らし（見守り強化） | 約30,000円 | 約15,000円 | 約45,000円 | 緊急通報装置・訪問サービスを増やす必要あり。少し高めの出費を見込む。 |
| 入院（一般病床・差額なし） | 約50,000円 | 約15,000円 | 約35,000円前後 | 医療費は高めでも高額療養費で軽減。家族負担は少なくて済む。 |
| 入院（緩和ケア病棟・差額あり） | 約80,000円 | 約20,000円 | 約60,000円前後 | 差額ベッド代がかかるが、医療の安心感は高い。終末期専門スタッフによるケア。 |

# 診断に応じたおすすめ制度リスト

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 診断結果 | おすすめ制度・支援 | 概要 |
| 在宅向き | 訪問看護・訪問診療 | 自宅での医療支援を受けられる制度。医療保険適用あり。 |
| 在宅向き | 介護保険サービス（デイ・ショート） | 身体介護や日中預かりなど。要介護認定が必要。 |
| 在宅向き | 高額療養費制度 | 医療費の自己負担上限を抑える制度。月額負担に上限あり。 |
| 入院向き | 緩和ケア病棟 | 終末期に特化したケアが受けられる専門病棟。医療体制が整っている。 |
| 入院向き | 医療ソーシャルワーカー相談 | 費用や制度利用、退院後の支援まで相談できる。 |
| どちらにも対応 | 地域包括支援センター | 制度の総合窓口。介護・医療・福祉のつなぎ役。 |